

「かみがつくる宇宙—マイクロとマクロの往還」

紙による表現の可能性を探求する3人の女性アーティストたち

布施知子、安部典子、柴田あゆみ

最も身近でありながら、無限の造形の可能性をもつ「神」のような素材—「紙」。
紙はまた、古来、人々がさまざまな思いを託す神が宿る「依り代」でもありました。本展では、従来の紙のイメージをくつがえす独創的な技法を展開し、「折り紙」、「彫刻」、「切り絵」とそれぞれ紙への異なるアプローチを探求する3人の女性アーティストの作品世界を展観します。

「ユニット折り」を世界的に広め、「無限折り」をはじめ、従来の折り紙の概念を変え、今まで誰も見たことのない世界を切り拓いてきた世界的折り紙作家・布施知子。

何百枚、何千枚という紙を一枚ずつフリーハンドで切り重ね、切り込むことで、紙による彫刻表現の可能性を探求し、インスタレーションとしての展開も精力的に行う安部典子。

圧倒的な超絶技巧と光の陰影によって、手のひらサイズから存在全体をすっぽりと包みこむような大型作品まで自在に変化する作品世界を展開する気鋭の作家・柴田あゆみ。

三者三様、それぞれが創り出すマイクロとマクロの宇宙をご堪能ください。

展覧会概要

会場	市原湖畔美術館（千葉県市原市不入75-1）
会期	2024年10月19日[土]—2025年1月13日[月・祝]
開館時間	平日 10:00～17:00 土曜・祝前日 9:30～19:00 日曜・祝日 9:30～18:00 *最終入館は閉館時間30分前まで
休館日	月曜日（祝日の場合は翌平日）年末年始（12月29日～1月3日）
料金	一般：1,000（800）円/大高生・65歳以上：800（600）円 *（ ）内は20名以上の団体料金。 *中学生以下無料・障害者手帳をお持ちの方（または障害者手帳アプリ「ミライロID」提示）とその介添者（1名）は無料
主催	市原湖畔美術館 [指定管理者：（株）アートフロントギャラリー]
協力	公益財団法人紙の博物館
お問合せ	市原湖畔美術館 TEL:0436-98-1525 E-mail:info@lsm-ichihara.jp https://lsm-ichihara.jp/



展覧会の見どころ

■命を吹き込まれた折り紙たち

ユニット折り紙のパイオニアとして世界的に知られ、さまざまな技法による「ORIGAMI ART」の道を独自に切り拓いてきた布施知子。本展では《むくむくとねじねじ》と題したインスタレーション作品を制作します。まるで命を持った生き物のように地上から伸びる「むくむく」と、身体を捻じ曲げるように横たわる300本の「ねじねじ」たち。折り紙から生まれる不思議でダイナミックな生命の世界が展開します。



参考画像《OROCHI (大蛇)》展示風景、北アルプス国際芸術祭、2021

■紙と光が生み出す大陸

何層にも重なる紙を切り抜くカッティングが縦横に位置し、安部は新作となる《White Night》(白夜)をインスタレーションします。無数の紙が地層のように積み重なりゆるやかな起伏を表現した本作は、まるで宇宙から地球を眺めているようです。作品を照らす明かりは、特殊照明作家・市川平が手掛け、紙が作り出す宇宙がひろがります。



参考画像(左) "TIME LAG- Linear-Actions Cutting Project"

SCAI THE BATHHOUSEでの個展風景、2011 Photo by Mareo Suemasa

(右)《地のかげら—A Piece of Flat Globe Vol.40》2019



■切り絵が織りなす繊細かつ壮大なインスタレーション

柴田あゆみは、当館9メートルの吹き抜けに《いのちの詩》をインスタレーションします。まるで糸で編み込まれたレースのような繊細さを感じさせる切り絵が、光と共に軽やかに天から降り注ぎます。本展では大型作品《あまのいわとひらき》と《羽衣》も展示。切り絵がうみだす神秘的な空間が紙のあらたな側面を映し出します。



(左)《いのちの詩》2024、(右)《あまのいわとひらき》と《羽衣》



作家紹介



■布施知子

1951年新潟県長岡市(与板地域)生まれ。長野県大町市在住。

千葉大学園芸学部卒業。折り紙との出会いは、小学2年生の時に病気で長期入院していた際、父親が折り紙の本を買ってくれたのがきっかけ。葉の包み紙を折ることに熱中したという。

パーツを組み合わせてつくる「ユニット折り」の第一人者であり、「無限折り」「螺旋」「コイル折り」など独自に開発した折による作品は、世界的に高い評価を受ける。工業製品も手掛け、その作品は数学教育の世界からも注目を集める。著書が多言語に翻訳されるなど、国内外で多方面に活躍する世界的折り紙作家。

主な展覧会に「Unit and Spiral」展(ドイツ、バウハウス、デッサウ、2004)、「Space folds (スペースフォールズ)」展(Schafhof - European Art Forum Upper Bavaria ドイツ、ブライジング、2015)、「ORIGAMI 布施知子の世界 OROCHI in 長岡」(アオーレ長岡、2023)がある。「北アルプス国際芸術祭」(2017、2021)、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」(2022、2024)にも出展。



参考作品

《無限折りによる枯山水》2017

《二重折りのヘリックス》2018





Photo by Mario la Porta

■安部典子

1967年埼玉県生まれ、埼玉県深谷市在住。1990年武蔵野美術大学油絵学科卒業。2004年から15年間ニューヨークにて活動。1999年より「Linear-Actions」と題した手作業でカットした数千枚の紙を重ね、一枚一枚の紙の高低差を生かして立体的な地層を生み出し、自然と人間と時間の関わりを具現化する「カッティングプロジェクト」を開始。また本や新聞といった既存のメディアにカッターの刃を入れ、独特の解釈を交えながら表現していく「Book Cuttings」というシリーズで知られる。2017年より教科書やノートブックを使った「濾過され(ない)内省」という小、中学生とのワークショップを日本、シンガポール、中国で実施。以来継続して取り組んでいる。主な展覧会に「層-Layering Void」(AOA:87ギャラリー、ベルリン、2024)、「In the Room-横顔のエロシェンコ-」(中村屋サロン美術館、2022)、「PAPER:かみと現代美術」(熊本市現代美術館、2022)、「影と共時性」(MAHO KUBOTA GALLERY、2020)、吉岡徳仁ディレクション「セカンドネイチャー」(21_21DESIGN SIGHT、2008)などがある。また、主な受賞にAICA—USA(国際美術評論家連盟全米支部)展覧会アワード2011(個展「キル-Artist Books 2009-2010」)、日産アートアワード2013(ファイナリスト)がある。



Photo by David Broda



参考作品

《内なる水—Inner Water》シラキュース大学附属ギャラリーでの個展風景、2012
カッティングブックシリーズ " EDルシェ : Artists Who Make Pieces, Artists Who Do Books" 2008





■柴田あゆみ

神奈川県横浜市出身。

2007年、音楽活動を断って渡ったニューヨークで、教会のステンドグラスの美しさに出会い、切り絵を独自に始める。ナショナルアカデミースクールにて版画とミクストメディアを習得。2015年よりパリに移り、パリ市運営のアトリエ59リボリにて2年間の展示と制作活動を行う。パリ滞在中、フランス最大のペーパーアーキテクト会社より後援を受け、4メートル四方の大型作品の展示やフランス老舗ブランド、repetto本店にて特別展示。

主な展示に、ドイツ国際ペーパーアートトリエンナーレ（2018）、世界工芸トリエンナーレ（金沢21世紀美術館、2019）、「切り絵 柴田あゆみの世界 巡るいのちの“Roots”」（富士川・切り絵の森美術館、2020）、「大地のうた」（丸の内KITTE他、2022）、「クリスチャン・ディオール、夢のクチュリエ」展（東京都現代美術館、2023）などがある。

2022年より、継続して森山良子氏コンサートツアーの舞台美術を、制作・監修。

参考作品

「クリスチャン・ディオール、夢のクチュリエ」展会場インスタレーション、2022
《かみのてのなか・いのちの詩》2023



関連イベント

●ワークショップ

①「ねじねじ」折り紙をつくろう

展示作品である「ねじねじ」を折ってつくるワークショップ。

身近な折り紙を用いて、布施独自の折り方を学びます。

日時：11月23日（土）13時～15時

場所：当館多目的ホール

講師：布施知子

対象：小学3年生以上

定員：20名

参加費：1000円（入館料別途）

②「線でみつけるーカッティング・ドローイング」

これまで作家が小中学校の出張ワークショップで実施してきたプログラムを一般向けに開催。

ノートブックにドローイング（線を描き）し、それをカッティングして立体的な作品をつくります。

日時：11月30日（土）13時～15時

場所：当館多目的ホール

講師：安部典子

対象：小学5年生以上

定員：20名

参加費：1000円（入館料別途）

※各ワークショップには市原湖畔美術館メンバーズ限定の割引があります。詳細はHPをご覧ください。

●イベント「湖畔とピクニックとマルシェ」

毎月第4土曜日に美術館広場で開催しているピクニックができるマルシェ。

10月は本展に合わせて、地元の旬な食べ物の他、個性的な紙やステーションナリーなどが並びます。

日時：10月26日（土）

時間：10時～15時

場所：美術館前広場

共催：千の風パレード



広報用画像

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



- ①布施知子《OROCHI (大蛇)》
- ②安部典子《TIME LAG》
- ③安部典子《地のかげら -vol.40》
- ④柴田あゆみ《いのちの詩》
- ⑤布施知子 プロフィール写真
- ⑥布施知子《二重折りのヘリックス》
- ⑦安部典子 プロフィール写真
- ⑧柴田あゆみ プロフィール写真
- ⑨柴田あゆみ《かみのてのなか・いのちの詩》

※広報で使用する場合、画像にはクレジットが必要となります。
各画像、クレジットは本文をご参照ください。



アクセス

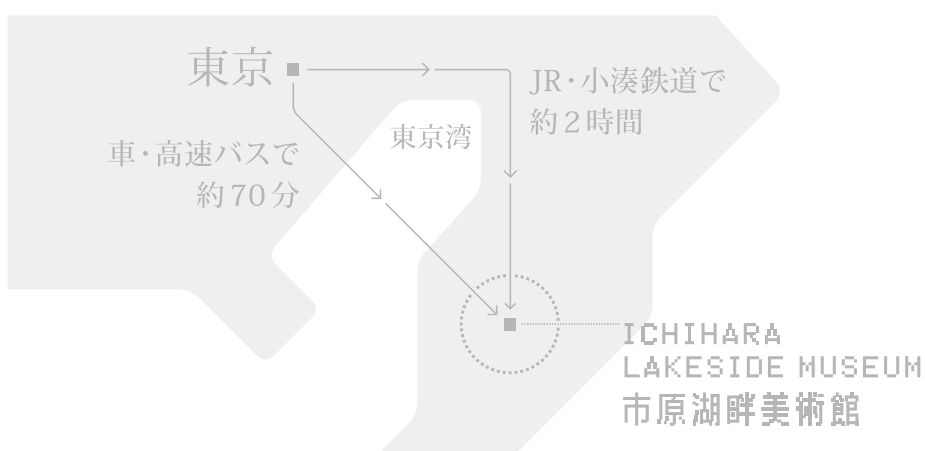
所在地：〒290-0554 千葉県市原市不入75-1

鉄道で：JR 内房線五井駅乗り換え 小湊鉄道「高滝」駅より徒歩20分 / タクシー5分

お車で：圏央道「市原鶴舞IC」より約5分

高速バスで：東京駅・羽田空港・横浜駅より約1時間

(市原鶴舞バスターミナルよりタクシー 約5分)



広報についてのお問い合わせ

市原湖畔美術館 三浦

tel:0436-98-1525 fax : 0436-98-1521

press@lsm-ichihara.jp www.lsm-ichihara.jp

美術館のSNSでは、美術館や展覧会情報を発信しています。

Facebook : @ichiharalakesidemuseum

Instagram : @lsm_ichihara

X : @LSM_ICHIHARA

